

2025年11月28日

各学校長 様
中学校 技術科教員 様
(義務教育学校を含む)
小学校教員 様
高等学校教員 様
特別支援学校教員 様

技術教育研究会北海道支部
代表 平舘 善明 (帯広畜産大学)

技術教育研究会北海道支部 冬季研修会のご案内

霜寒の候、先生方におかれましては、益々ご健勝にて、日々の教育実践にご尽力のことと存じます。

さて、本会は2020年1月に創立60年を迎えた教育研究団体で、明日の授業に役立つ具体的な教材づくり・研究・開発などを行いながら、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などで技術教育に携わる先生方が抱える課題や悩みを共有し、明日への活力や解決策を見出すことを目的として、標記の研修会を開催します。詳細は下記の通りです。

時節柄、ご多忙のことと存じますが、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 主 催 技術教育研究会北海道支部
- 期 日 2025年12月26日(金)～27日(土)
- 会 場 北海道滝川工業高等学校(滝川市二の坂町西1丁目1番5号)
- 研修内容
 - 技術科のあり方を大きく変える次期学習指導要領について
～中教審と関連学会における検討動向～
 - 中学校技術科のデジタルものづくりを含むカリキュラム検討
[情報活用能力の抜本的向上に関する実習の指導法を含む]
 - 技術教育の現状と教材づくりに関する実践交流 など
- 日 程

第一日 12月26日(金)

| 10:00 | | 10:45 | | 12:45 | | 16:45 | |
|-------|-------------|------------------|-------------------------------|--------|-------------------------------------|-------------|--|
| 受付 | 開 会 式 | 地域の 技術 見学会 | 理論研修講座Ⅰ 次期学習指導要領改訂に ついて | 休 憩 | 理論研修講座Ⅱ 次期学習指導要領改訂への カリキュラム検討 | ま と め | |

第二日 12月27日(土)

9:00 12:00 13:00

| | | |
|---|----------|-------------|
| 理論研修講座Ⅱ 次期学習指導要領改訂について カリキュラム検討・指導法 | 実践 交流 | 閉 会 式 |
|---|----------|-------------|

予定は天候状態等によって一部変更する場合があります。

6. 研修講座 I. 「技術科のあり方を大きく変える次期学習指導要領について
～中教審と関連学会における検討動向～」

講師 帯広畜産大学人間科学研究部門

平舘 善明 さん

II. 「中学校技術科のデジタルものづくりを含むカリキュラム検討」

講師 平取町立振内中学校

浅沼 公博 さん

講師 夕張市立ゆうばり小学校

黒瀧 善和 さん

7. 実践交流 日頃の実践の中で解決できない問題や悩んでいることを共有し、また、明日の授業へのヒントを持ち帰っていただくために、座談会形式で率直に話し合うことで、交流を深めます。

8. 申し込み 2025年12月24日(水曜日)までに下記の事務局へ以下の内容を下記のQRコード或いは、<https://forms.gle/zDhDdP4Uamr7LH1s5>から 入力の上、お申し込みフォームでお申し込みください。①参加希望者お名前、②ご所属または勤務先、③参加者個人の電子メールアドレス、④研修会当日に着信可能な参加者個人の携帯電話番号、⑤参加希望者のご専門(現在、中学校にて技術科を免許外指導でご担当の場合は必ずお申し出下さい)、⑥当日の交通手段(バス・鉄道・自家用車など)、⑦実践資料・教材紹介の資料提供の有無、⑧教員経験年数、⑨技術教育研究会会員・未入会について全て記載の上、ご送信ください。(資料準備のため期日厳守でお願いします)



9. 費用 (1) 参加費(資料代込み)は、3,000円です。
(2) 夕食の会費は実費となります。会場は滝川市街地です。
・それぞれ当日お支払いいただきます。

10. その他 (1) 可能ならば、年間指導計画(題材配当表)、授業で使用したプリントや資料、授業や実習で使用しているキット教材・教材・教具、テスト問題など、実践交流の参考となる資料を、お持ちください。
(資料は15部ご用意下さい)

- (2) 公的施設にて土曜日開催のため、室内の防寒対策をお願いします。
 - (3) 製作したものの他にも、参考教材・資料をお配りする予定です。
 - (4) 動きやすい服装と靴でご参加下さい。
 - (5) 宿泊については、滝川市内のホテルを事務局・現地実行委員会で斡旋します。希望される方は、お申し込みフォームに該当事項をご記入ください。シングルルーム素泊まりの宿泊費で8,700円程度かかります。第1日目受付時に事務局へお支払いください。
- ※ 地域の技術見学会は、空知管内唯一の工業高校である北海道滝川工業高校を見学します。

担当事務局 技術教育研究会北海道地区全国委員 井川 大介
(遠軽町立遠軽中学校望の岡分校)
電子メール gikyouden@gmail.com

(研修講座の内容紹介)

I. 「技術科のあり方を大きく変える次期学習指導要領について」

講師 帯広畜産大学人間科学研究部門 平舘 善明 さん

現在、中教審教育課程部会にて、中学校の「技術・家庭科」を、次期学習指導要領下で「情報・技術科」に再編することが検討されています。昨年12月の中教審への諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」に対して、本年9月に「論点整理」が公表されました。

そこでは、各学校段階と各教科の全体を貫く学習の基盤となる「情報活用能力の抜本的向上」が大きな柱に掲げられ、その中核を担う教科として、「情報・技術科」への再編が打ち出されています。技術科の現行の4単元構成は維持されるものの、「情報の技術」を他の3単元の基盤として、つながりを強化することが主張されています。

この「論点整理」の公表後、情報・WGグループでの各論の検討へと移行しており、来年の夏までには「中間まとめ」が出される予定です。こうした動きに関連して、例えば日本産業技術教育学会では、「論点整理」に対する声明を出しています。

本講座では、午後からの講座Ⅱでのカリキュラム検討の前提として、中教審や産技学会などの検討動向を正確に把握し、検討動向の背景も読み解きながら、これまでの私たちの教育実践の積み重ねとその成果に照らして、今後のあるべき教育実践のスタンスや対応すべき点について、議論していきたいと思えます。

Ⅱ. 「情報・技術科」(仮称)で生産技術の根幹を担う単元のカリキュラムをどう考えるか

講師 平取町立振内中学校 浅沼 公博 さん

講師 夕張市立ゆうばり小学校 黒瀧 善和 さん

講座Ⅰでの話題提供がされたあと、講師2人と一緒にカリキュラムについて討議します。

2025年6月に中央教育審議会は「情報教育」を拡充・強化しようとする考えでこれまでの「技術・家庭科」を分離し、「情報・技術科」(仮称)と「家庭科」の二教科に再編すると発表した。人的・物的な教育条件整備が脆弱な中学校技術科において現場の混乱や負担の増大が今から懸念されることから、実際に講座の講師が中心となってカリキュラムをどのように組んでいけばよいのかを、講師が用意した教具や授業プランを皆さんで検討しながら、参加者が技術科の授業を今後行えるように相談し合う講座です。

本講座は、2026年の春頃までに結論が出る標準授業時数が文部科学省から出る前に材料加工、エネルギー、生物育成の単元に関して、どのように技術科の教育課程を編成したらよいかと悩んでいる方にとっておすすめの講座です。

(地域の技術見学会)

北海道滝川工業高等学校の施設・設備見学と工業高校についての説明が行われます。